

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：

単位 2

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：榎本）

（B組：榎本）

（C組：榎本）

（D組：柴田）

（E組：柴田）

（F組：柴田）

使用教科書：（大修館書店 新編論理国語

）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 論理国語

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| 他者に関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使うとしている。 | 論理的に考えることに加え、章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考えている。また、他者の考えと自分の考えを吟味したり検討したりすることを通して、自分で新しい考えを生み出そうとしている。さらに、状況や場面に応じた他者との関わりの中で、必要な事柄を正確に伝え、相手の意向を的確に捉えて解釈したり、効果的に表現したりしている。 | 言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、生涯にわたる読書習慣の基礎を築き、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|--|---|-----|---|---|--|---|---|---|----------|
| | | | 話・聞 | 書 | 読 | | | | | |
| 1 学 期 | 知の登山、知の水路 【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ア | ・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「論理的な人」とはどういう人か 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア | ・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | 突然変異と進化の関係 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア | ・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取るようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | ウサギの耳はなぜ長い？ 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア | ・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | | | ○ | | ○ | | 1 | |
| | 米の種類と食文化 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア | ・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取るようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|---|--|--|---|---|----|---|
| 2 学 期 | 対話の精神 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア | ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 | | | ○ | 【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 | |
| | 定期考査 | | | | ○ | | | | | 1 | |
| | 文化としての科学 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア | ・主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 | | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 「考える輩」であり続ける 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア・ウ | ・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 | | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 量の時代から質の時代へ 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ | ・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。 | | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりえようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | | | | | 1 |
| 3 学 期 | 紙の本はなくなる 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ | ・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 | | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 情報化と紙の本のゆくえ 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ | ・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。 | | | | ○ | 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取ろうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | | | | | 1 |
| 合計 | | | | | | | | | | 70 | |